



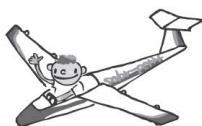
そらぶちキッズキャンプが法人化されました!



代表理事
細谷 亮太

法人設立のご挨拶

一般財団法人
そらぶちキッズキャンプ



■プロフィール

1948年、山形県生まれ。東北大学医学部卒業後、聖路加国際病院小児科に勤務。小児がんの先端的治療技術の研修のため、米国テキサス大学総合がん研究所M・D・アンダーソン病院に1977年より三年間赴任。現在、聖路加国際病院副院長・小児科部長。

(著書)「川の見える病院から~医者ができること、できなかつたこと~」

「小児科病棟の四季」、「医者が泣くということ」、「生きるために、一句」

「命のノート 僕たち、わたしたちの「命」についての12のお話」、「ぼくのいのち」他



“病気とたかう子どもたちに夢のキャンプをつくろう”と有志が集まり、2004年3月に任意団体として創設した「そらぶちキッズキャンプを創る会」は、2008年12月25日をもって「一般財団法人そらぶちキッズキャンプ」として登記を完了し、新たな出発をいたしました。

そらぶちキッズキャンプの計画は、国内で活動する二つの流れが、ほぼ同時にこうしたキャンプをつくろうと動き出したことに端を発します。

一つは、医療者たちの取り組みです。

「創る会」の会長であった故・横山清七医師（元東海大学医学部小児外科教授）が1999年米国難病児キャンプに患児とともに参加、子どもたちが生きる実感をかみしめている様子に驚き、「ぜひ日本でも」と決意。その後、わたくし細谷が仲間の小児がん専門医らとともに実施していた「スマートムンストンキャンプ」に参加されるようになりました。「スマートムンストンキャンプ」は、小児がんを告知された子どもたちが参加するキャンプで、1998年から毎年、キャンプ地を固定せず日本各地の既存施設を利用し実施していました。そして2003年横山医師は、自身が会長となった第19回日本小児がん学会で、キャンプを中心とした子どものQOL（生活の質）向上をテーマに掲げ、その重要性を全国に発信しました。

もう一つは、公園づくりの専門家たちの取り組みでした。

松本守氏（元国土交通省審議官）、浅野房世氏（東京農業大学園芸療法學教授）が「バリアフリーの公園という考え方を超えて、病気の子どもの幸せをサポートすることができないか」と考えるようになり、2002年に米国難病児キャンプを視察後、豊かな自然環境がある北海道滝川市やその関係者とともに実現に向けて動き出しました。

このような思いを同じくする2つの取り組みが重なり、日本で初めて、病気とたかう子どもたちのため特別に配慮された常設のキャンプ場づくりが、実現に向けて進み始めたのです。

この法人は、自然体験を通じて、病気とたかう子どもたちとその家族の「QOL（生活の質）の向上」や「心のケア」に寄与することを目的としています。具体的には、病気とたかう子どもたちとその家族に対し、自然の中で安心して安全に楽しく過ごしてもらうため、特別に配慮されたキャンプ施設や自然体験プログラムを提供します。また地元滝川市立病院の協力のもと、医師や看護師による医療的なバックアップを行います。そして、病気の子どもやその家族が「たのしい思い出」「すばらしい仲間」「生きる力」「希望」を得ることを目指します。

また将来的には、より医療支援体制を充実させ、欧州の“こどもホスピス”のように「レスパイトケア（在宅闘病中の子どもを一時的に預かることによる家族への支援）」や「グリーフケア（子どもを亡くした家族への支援）」等を提供できるよう、事業展開していく所存です。

そしてその結果として、キャンプ地である北海道滝川市丸加高原から、「医療」や「福祉」の新しいあり方を日本全国に発信していきたいと考えています。またこの施設は、様々な寄付やボランティアにより支えられることになります。日本の中に真の意味での「寄付文化」や「ボランティア文化」をつくることができるのではと考えています。

このたび念願の法人格を取得し、これから信頼性の向上、支援の広がり、活動の充実を図ってまいりますので、この小文をお読みいただいた皆様には、「一般財団法人そらぶちキッズキャンプ」の今後の活動に、なお一層のご理解・ご助力・ご支援を賜りますようお願い申しあげます。



一般財団法人 そらぶちキッズキャンプ

役員

評議員 8名

評議員	嵯 鈴 田 正 宮 山 渡 松	原 木 村 木 崎 本 邊 本	弘 忠 司 子 子 久 南海 雄	(國學院大学北海道短期大学部 学長) (滝川市医師会長・医師) (滝川市長) (株)泰正代表取締役 (長島・大野・常松法律事務所・弁護士) (伊藤謝恩育英財団常務理事) (滝川商工会議所会頭) (日本チーンドラッグストア協会名誉会長)
-----	--------------------------------------	--------------------------------------	---------------------------------------	--

理事 8名

代表理事	細 中 浅 上 黒 小 篠 松	谷 文 野 野 田 林 島 本	太 雄 世 滋 彦 勝 弘 守	(聖路加国際病院副院長・小児科部長・小児科医) (北海道広域市町村圏連絡協議会事務局長・元 滝川市収入役) (東京農業大学農学部園芸(植物介在)療法学研究室教授) (東海大学医学部教授・小児外科医) (滝川市立病院長・医師) (北海道看護連盟北空知支部長・元 滝川市立病院看護部長) (滝川市医師会副会長・医師) (桐蔭横浜大学客員教授・元 国土交通省官房審議官)
------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	---

監事 2名

監事	塩 井	勝 男	(新日本アーンストアンドヤング税理士法人・税理士)
監事	塩 池	治	(北門信用金庫 専務理事)

定款

※抜粋

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、難病小児を主たる対象とする自然体験施設の運営に関する事業を行い、難病小児とその家族の「QOL(生活の質)」の向上や心のケアに寄与することを目的とする。

(事業)

- 第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
- (1) 難病小児等のための自然体験プログラムの企画及び実施
 - (2) 難病小児等のための自然体験活動に関する啓発・普及
 - (3) 難病小児等のための自然体験活動に関する調査及び研究
 - (4) 自然体験施設の貸与
 - (5) 農産物および加工品等の販売
 - (6) 生活雑貨用品の販売
 - (7) ロイヤリティー事業
 - (8) 前各号に附帯又は関連する一切の事業

